

NNY
ドラマ・スタジオ

広島がヒロシマになった日。

新国立劇場演劇研修所 第19期生公演

朗読劇

少年口伝隊一九四五

作=井上ひさし 演出=栗山民也



広島がヒロシマになった日。

ヒロシマの人々の思いを、井上ひさし氏の思いを、口伝する。

■写真・資料のご請求、ご取材のお問い合わせ

新国立劇場 演劇研修所 演劇研修係 井上・西島・上田

Tel: 03-5352-5770 / Fax: 03-5352-5776 / Email: dramastudio@nntt.jac.go.jp

■新国立劇場 演劇研修所ウェブサイト

<https://www.nntt.jac.go.jp/dramastudio/>



新国立劇場

NNY
ドラマ・スタジオ

【作品概要】朗読劇『少年口伝隊一九四五』

新国立劇場演劇研修所では、夏恒例の朗読劇として、井上ひさし作、栗山民也演出の名作『少年口伝隊一九四五』を4年ぶりに7月31日（木）から8月3日（日）まで、新国立劇場小劇場にて上演いたします。

昭和20年8月、広島は原爆によって壊滅的な打撃を受け、敗戦の後、9月、戦後最大級の枕崎台風の襲来によって更なる惨禍に見舞われました。

『少年口伝隊一九四五』は、この悲劇を三人の少年の姿を通じて語る約1時間のドラマです。

○井上ひさし氏と栗山民也氏が若い俳優に託すこと

この作品は、井上氏が演劇研修所で研鑽を積む若い俳優のために書き下ろし、当時芸術監督で初代演劇研修所長を兼任していた栗山氏が初演以来自ら演出を担い続ける作品です。2008年に初演、これまでに研修所公演として9回上演してきたほか、2010年にはこまつ座公演として修了者によって上演されました。この作品は、井上氏にとっては晩年の傑作であり、栗山氏にとってはライフワークの一つに位置づけられる作品と言えます。

二人は、この作品を通じて「忘れてはならない歴史を学び、語り継ぐこと」を若い俳優に託しました。演劇研修所ではその意を汲みこの作品に加え、沖縄戦におけるひめゆり学徒隊の悲劇を語る『ひめゆり』等の上演を通じて「忘れてはならない歴史を学び、語り継ぐこと」を続けています。

○若い俳優が1時間の作品に数か月をかけて作りこんでいること

この作品は、広島を襲った大きな二つの悲劇を、徹底した作品作りに取り組んだ 12人の俳優の「声」と1本のクラシックギターの生演奏だけで描いていきます。

若い俳優は、皆この作品の上演準備に数か月の時間をかけています。稽古場での稽古に2か月近くをかけ、国内研修として広島に赴き、平和記念資料館見学、ドラマで描かれる場所巡りや様々な資料の読み込み等を通じて、作品作り、役作りを深めます。

「声・語り」だけでドラマを描く朗読劇は、俳優にとっては身体的な演技を伴う表現ができない反面、「声・語り」の演技に集中して趣向を凝らすことにもなります。様々な「声・語り」と繰り出す俳優の「声」の演技をお聴きいただきたいと思います。

また、初演時から参加するクラシック・ギタリストの宮下祥子の生演奏も必聴です。戦災で美しいギターの色は、怒りや悲しみも描きながら、やがて無限の悲しみに寄り添い、忘れてはならない歴史を奏でます。



朗読劇『少年口伝隊一九四五』
（作＝井上ひさし、演出＝栗山民也）
2021年公演より（第15期生ほか出演）
撮影：宮川舞子

【ものがたり】

昭和20年8月6日、一発の原子爆弾が広島の上空で炸裂した。一瞬にして広島は壊滅。このときから、漢字の広島はカタカナのヒロシマになった。 かるうじて生き延びた英彦、正夫、勝利の三人の少年は、やはり運よく助かった花江の口利きで中国新聞社に口伝隊として雇われる。新聞社も原爆で何もかも失ったため、ニュースは口頭で伝えるほかなかったからだ。三人の少年は、人々にニュースを伝えながら、大人たちの身勝手な論理とこの世界の矛盾に気づいていく。 やがて、敗戦……。そこへ戦後最大級の台風がヒロシマを襲う。

【スタッフ】



作：井上ひさし

INOUE Hisashi

作家・劇作家 1934年、山形県東置賜郡川西町(旧小松町)生まれ。上智大学外国語学部フランス語科卒業。在学中から台本を手がけ、放送作家として執筆活動をスタートする。64年には、NHKの連続人形劇『ひょっこりひょうたん島』(共作)の台本を執筆。その後、戯曲、小説、エッセイの分野にも活動の場を広げ、直木賞をはじめ、読売文学賞、吉川英治文学賞、谷崎潤一郎賞、菊池寛賞、など数多くの賞を受賞。主な戯曲に『日本人のへそ』『頭痛肩こり樋口一葉』『父と暮せば』『人間合格』『組曲虐殺』など。ベストセラーには小説『ブンとフォン』『吉里吉里人』『四千万歩の男』『東京セブンローズ』、また『私家版日本語文法』『コメの話』『本の運命』『井上ひさしの子どもにつたえる日本国憲法』などもある。こまつ座旗揚げは84年、多くの戯曲を書き下ろして旧作とあわせて上演。

新国立劇場にも『紙屋町さくらホテル』『東京裁判三部作』他を書き下ろす。戯曲『化粧』『藪原検校』『父と暮せば』などは海外公演でも高い評価を得ている。01年には「知的で民衆的な現代史を総合する創作活動」で朝日賞を受賞。04年文化功労者に選ばれる。09年日本放送協会放送文化賞。恩賜賞日本芸術院賞を受賞。09年『ムサシ』『組曲虐殺』を書き下ろして上演。10年「長年にわたり演劇界に多大な貢献をしてきた」ことにより読売演劇大賞 芸術栄誉賞を受賞。同年故郷山形県より山形県県民栄誉賞受賞。2010年4月9日永眠(75歳)。



演出：栗山民也

KURIYAMA Tamiya

演出家 早稲田大学文学部演劇科卒業。主な演出作品に『GHETTO/ゲッター』『きらめく星座』『海をゆく者』『組曲虐殺』『スリル・ミー』『ピアフ』『藪原検校』『アルカディア』『チャイメリカ』『カリギュラ』『ゲルニカ』『オーランド』『ファンレター』などがある。紀伊國屋演劇賞、読売演劇大賞最優秀演出家賞、毎日芸術賞千田是也賞、朝日舞台芸術賞、芸術選奨文部科学大臣賞などを受賞。新国立劇場では『今宵限りは...』『ブッダ』『キーン』『夜への長い旅路』『欲望という名の電車』『ピカドン・キジムナー』『夢の裂け目』『ワーニャおじさん』『桜の園』『浮標』『夢の泪』『涙の谷、銀河の丘』『世阿彌』『胎内』『喪服の似合うエレクトラ』『箱根強羅ホテル』『母・肝っ玉とその子供たち』『夢の痂』『CLEANSKINS/きれいな肌』『氷屋来たる』『まほろば』『雨』『マニラ瑞穂記』『あわれ 彼女は娼婦』、オペラ『夕鶴』『蝶々夫人』を演出。新国立劇場演劇研修所公演の演出に『アンチゴーヌ』『嘸みついた娘』など。著書に『演出家の仕事』(岩波書店刊)。新国立劇場演劇芸術監督を7シーズン務め、また2005年4月開所時より16年3月まで新国立劇場演劇研修所所長を務めた。13年春、紫綬褒章受章。23年秋、旭日小綬章受章。

写真提供：こまつ座
写真撮影：宮川舞子

【キャスト】

新国立劇場演劇研修所 第19期生

			
井神 峻太 いがみ りょうた	大田 真喜乃 おおた まきの	菊川 斗希 きくかわ とし	崎山 新大 さきやま しんた
			
田村 良葉 たむら かずは	千田 碧 ちだ あお	辻坂 優宇 つじさか ゆう	中島 一茶 なかじま いっさ
			
野仲 咲智花 のなか さちか	向井 里穂子 むかい りほこ	森 唯人 もり ゆいと	和田 壮礼 わだ たけのり

ギター演奏



宮下 祥子

MIYASHITA Sachiko

7歳よりギターを始め、ギターを渋谷忠三、福田進一、P.シュタイドルに師事。クラシカルギターコンクール優勝。A.セゴビア国際ギターコンクールに日本人として初めて第2位入賞。キジアーナ音楽院夏期講習会でO.ギリアに師事、最優秀ディプロマを得る。

ギターと女性フェスティバル（パラグアイ）、トリノ国際ギターフェスティバル（イタリア）、アジア国際ギターフェスティバル（タイ）、テジョン国際ギターフェスティバル（韓国）、ウラジオストック国際ギターフェスティバル（ロシア）、セゴビア国際ギターフェスティバル（スペイン）など世界12カ国32都市で演奏。

朗読劇『少年口伝隊一九四五』に井上ひさし氏の指名で初演より出演。2011年、札幌交響楽団とアランフェス協奏曲を共演。6枚のアルバムをリリースし、レコード芸術誌にて特選盤、優秀録音盤に選ばれる。全アルバムは世界配信されている。

道銀芸術文化奨励賞受賞。北海道大学卒業。（公社）日本ギター連盟理事。

【公演概要】

新国立劇場演劇研修所第19期生公演 朗読劇『少年口伝隊一九四五』

作：井上ひさし

演出：栗山民也

演出補：田中麻衣子

音楽監督：後藤浩明

模型製作：尼川ゆら

照明：服部 基

音響：黒野 尚

衣裳：中村洋一

方言指導：大原穰子

ヘアメイク：前田節子

舞台監督：米倉幸雄

宣伝美術：荒巻まりの

イラストレーション：徳永明美

出演：新国立劇場演劇研修所 第19期生

井神峻太 大田真喜乃 菊川斗希 崎山新大 田村良葉 千田 碧
辻坂優宇 中島一茶 野仲咲智花 向井里穂子 森 唯人 和田壮礼

ギター演奏

宮下祥子

演劇研修所長：宮田慶子

主催・制作：新国立劇場

会場：新国立劇場 小劇場

日時：2025年7月31日（木）19:00／8月1日（金）19:00

8月2日（土）14:00／8月3日（日）14:00

*開場は開演の30分前 *8月2日託児あり

チケット料金（税込）：A 席 2,750円／B 席 2,200円／U25席 1,650円
Z 席（当日券） 1,650円

○クラブ・ジ・アトレ会員ほか、各種割引はありません。

◆U25席のご案内

ご観劇当日に25歳以下の方が対象です。Webボックスオフィスのみのお取り扱いです。
入場時、チケットと共にご年齢を確認できる証明書（コピー不可）をご提示ください。
電話予約不可。

チケットのご購入： 新国立劇場ボックスオフィス 03 - 5352 - 9999
Webボックスオフィス <https://nntt.pia.jp/>
チケットぴあ【Pコード：534-159】 <https://t.pia.jp/>

前売り開始日： 一般発売日 2025年5月31日（土）10:00～

公演ウェブサイト： <https://www.nntt.jac.go.jp/play/littleboybigtyphoon/>

※チケット販売等、最新の情報はウェブサイトをご確認ください。

【英語字幕・観劇サポートの実施について】

◆英語字幕（ポータブル字幕機の貸し出し） [先着順、予約不要]

手持ち型ポータブル字幕機をお貸出しし、英語字幕を表示いたします。

対象公演：8月1日（金）19：00 公演／8月2日（土）14：00 公演／8月3日（日）14：00 公演

◆観劇サポート（開演前舞台説明会） [定員制、先着順、要予約]

目に障がいのあるお客様およびその付添の方に向け、開演前舞台説明会を実施します。

対象公演：8月2日（土）14：00 公演

【新国立劇場 演劇研修所について】

新国立劇場演劇研修所は、明晰な日本語を使いこなし、柔軟で強い身体を備えた次世代の演劇を担う舞台俳優の育成を育成しています。研修期間は3年間で、原則として週5日間、午前10時～午後6時のレッスンを、年間を通して行っています。

1・2年次は基礎的俳優訓練とともに、第一線の演出家や俳優指導の専門家を軸とする講師陣による基礎的な訓練およびシーンスタディを行い、3年次には修了に向けて数本の舞台実習公演を行います。

修了生は、新国立劇場公演のみならず、さまざまなプロデュース公演に出演、映像作品への出演、声の仕事など、活躍の場を広げています。

新国立劇場演劇研修所ウェブサイト：<https://www.nntt.jac.go.jp/dramastudio/>



今後の研修公演のご案内

■第19期生公演

公演日程：2025年11月11日（火）～11月16日（日）

■第19期生修了公演

公演日程：2026年2月10日（火）～2月15日（日）

第22期生選考試験のご案内

研修期間 2026年4月～2029年3月

出願期間：2025年11月～12月（予定）

選考試験：2025年12月中旬（予定）

最新の情報は、ウェブサイトにてお知らせいたします。

演劇研修所修了生の出演情報：<https://www.nntt.jac.go.jp/play/training/graduate/info/>